10　家庭

学校番号	1009

令和２年度　家庭科

教科	家庭	科目	家庭基礎	単位数	１単位	年次	１年前期
使用教科書	家庭基礎　ともに生きる　明日をつくる　（教育図書）						
副教材等	家庭基礎　ともに生きる　明日をつくる　ワークノート（教育図書）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

〇家庭生活に関心をもち、積極的に取り組みましょう

・生活の様々な現象や課題をワークショップや演習等を通して考え、理解を深め知識を身に付けます。友だちの考えを知り、多様な考え方を学び、自分の考えをもちましょう。

・実践的・体験的な学習を通して、科学的な理解に基づいた確かな技術を身に付けます。

・学んだことを自分の生活の問題として捉え、よりよい生活をめざします。

2　学習の到達目標

人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、家庭や地域の生活課題を主体的に解決するとともに、生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などについて関心をもち、その充実向上をめざして主体的に取り組むとともに、実践的な態度を身に付けている。	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などについて課題を見出し、その解決を目指して思考を深め、適切に判断し、工夫し創造する能力を身に付けている。	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な技術を身に付けている。	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識を身に付けている。
評価方法	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 調理計画、製作計画、実習記録表 レポート、発表 自己評価　等	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 調理計画、製作計画、実習記録表 レポート、発表 定期考査の結果 自己評価・相互評価等	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 写真、製作品 観察記録表 レポート、発表 定期考査、実技テストの結果 自己評価・相互評価等	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 調理計画、製作計画、実習記録表 観察記録表 レポート、発表 定期考査の結果等

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学期末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点 a	b	c	d	単元(題材)の評価規準	評価方法
前期	人の一生と家族	○人生って何だろう？ ・なぜ「今」が大切なのか？ ・人の一生はどうなっているのだろう？ ○青年期の課題とは？ ・青年期の課題にはどのようなものがある？ ・未来に向けた決断をしよう ＊人生における職業とは？	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○	○ ○ ○ ○ ○ ○	a:青年期の生き方について関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b:青年期にある自分を見つめ、課題を見いだし、その解決をめざして考え、表現している。 c:事例研究などを通して、青年期の生き方について検討する技術を身に付けている。 d:青年期の課題について理解し、人の一生を自分の問題として捉えるための知識を身に付けている。	授業観察 ワークシート レポート 考査 等
	保育	○家族って何だろう？ ・家族について考えてみよう ・家庭の働きを考えてみよう ○家族と社会のかかわりは？ ・家庭生活と社会の動き ・男女でともに築く家庭 ＊家事労働 どちらがする？ ・家族、家庭は法律でどう決められているか ○赤ちゃんはなぜかわいい？ ・赤ちゃんのもつすばらし能力 ○子どもはどう育つのだろう？ ・子どもの成長のようす ・子どもの発育・発達の特徴 ・コミュニケーション能力の発達 ・発育・発達の障がい ○親になるということはどういうことか？ ・親の役割って何だろう ・子どもの世話をしてみよう ○子どもを取り巻く環境 ・子育てにかかわる問題点 ・家庭保育と集団保育 ・子どもの権利と福祉 ・子どもや子育てを支援するしくみ	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	a:家族・家庭の意義や役割、男女の平等と相互の協力などについて関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b:生涯発達の視点から家族・家庭と社会との関わりについての課題を見いだし、その解決をめざして考え、表現している。 c:事例研究などを通して、家族や家庭の在り方について検討する技術を身に付けている。 d:生涯発達の視点から、家族・家庭の意義、社会との関わりなどについて理解し、人の一生を自分の問題として捉えるための知識を身に付けている。 a:子どもの発達と保育について関心を持ち、実践的・体験的な活動を通して意欲的に学習に取り組もうとしている。 b:子どもの発達と保育について、家族や地域の生活を見つめて課題を見いだし、その解決をめざして考え、表現している。 c:子どもと適切に関わることができたり子どもの健やかな発達を支える技術を身に付けている。 d:子どもの発達と保育について理解し、家族・地域・社会の果たす役割を認識するために必要な知識を身に付けている。	授業観察 ワークシート レポート 考査 等 授業観察 ワークシート レポート 考査 等

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	C	d		
前期	高齢者	○社会はどう高齢化するのだろう？					a:高齢者の生活について関心を持ち、実践的・体験的な活動を通して意欲的に学習に取り組もうとしている b:高齢者の生活について、家族や地域の生活を見つめて課題を見いだし、その解決をめざして考え、表現している。 c:高齢者と適切に関わることができたり高齢者の自立生活を支える技術を身に付けている。 d:高齢者の生活について理解し、家族・地域・社会の果たす役割を認識するために必要な知識を身に付けている。	授業観察 ワークシート レポート 発表 考査　等
		・高齢期についてなぜ学ぶのか？	○	○		○		
		・人口の高齢化はなぜおこるのか？	○	○		○		
		○超高齢社会の課題は？						
		・超高齢社会の課題	○	○		○		
		○高齢期ってどういう時期？						
		・高齢期について正しい知識を身につけよう	○	○		○		
		・高齢期の心身の特徴	○	○		○		
		・高齢者の健康	○	○		○		
		・高齢期の生活	○	○		○		
		＊高齢者の生活環境についてディベート	○	○	○	○		
		・生活を支える社会保障制度	○	○		○		
		・高齢期の生活を支えるしくみ	○	○		○		授業観察 ワークシート レポート 製作物 発表 考査　等
		・共生社会の実現に向けて	○	○		○		
	衣生活	○なぜ服を着るの？					a:被服管理と着装、健康で快適な衣生活、ライフスタイルと環境に関心をもち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b:被服管理と着装、健康で快適な衣生活などについて、課題を見いだし、その解決をめざして考え、適切に判断し表現している。 c:生涯を通して健康で快適な衣生活を営むために必要な被服計画、被服整理などの技術を身に付けている。 d:被服の機能と着装、被服材料、被服の構成、被服管理などについて科学的に理解し、健康で快適な衣生活を主体的に営むために必要な知識を身に付けている。	
		・衣服の機能	○	○		○		
		・人の一生と衣服	○	○		○		
		○衣服の成り立ちと性質						
		・衣服の材料を見てみよう	○	○		○		
		・衣服のつくりを見てみよう	○	○		○		
		○衣服の管理						
		・衣服の購入	○	○		○		
		・衣服の着用とイメージ	○	○		○		
		・衣服の手入れ	○	○		○		
		・衣服の保管	○	○		○		
		・衣服の処分	○	○		○		
		○被服実習						
		＊被服製作	○	○	○	○		

表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現　c:技能　d:知識・理解

※　＊は、ワークショップ、実習・実験など実践的・体験的な学習活動や問題解決的な学習活動を示している。

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。